

リリース 1.02 から 1.1.1 への Unity Express のソフトウェア アップグレード

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco Unity Express のアップグレード手順](#)

[アップグレードの設定](#)

[手順](#)

[初期設定例](#)

[Cisco Unity Express リリース 2.3.x へのソフトウェア アップグレードの準備](#)

[新しい Cisco Unity Express ソフトウェアのロード](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Express ソフトウェアをリリース 1.0.2 からリリース 1.1.1 および 1.x.x にアップグレードする手順について説明します。リリース 2.3.x 次はこのドキュメントで説明する重要項目です。

- Cisco Unity Express リリース 1.1.1 では、新しいブート ロードが必要で、新しいブート ロードには ping があり、機能を確認します。
- Cisco Unity Express ソフトウェアをアップグレードすると、既存のデータと設定が消去されます。アップグレード後にそのようなデータの復元が必要な場合、Cisco Unity Express で現在の設定とデータのバックアップを実行します。
- Cisco Unity Express リリース 1.1.1 では、個別のライセンスが Cisco CallManager と CallManager に必要です。

前提条件

要件

アップグレード手順のための唯一の特定要件は、Cisco Unity Express 製品が配置されているのと同じネットワーク上の、FTP または TFTP サーバの可用性です。

使用するコンポーネント

このシステムで使用される唯一のコンポーネントは、アップグレードされる Cisco Unity Express 製品です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細については、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco Unity Express のアップグレード手順

このセクションでは、Cisco Unity Express リリース 1.0.2 からリリース 1.1.1 にアップグレードを行う場合に必要な、セットアップの条件と手順を詳しく説明します。

アップグレードの設定

- FTP および TFTP サーバをソフトウェア ダウンロード用に設定する必要があります。
- TFTP サーバと FTP サーバから Cisco Unity Express モジュールに ping を送信できることを確認します。
- ドメイン ネーム システム (DNS) サーバは、初期化時に任意に選択できます。DNS を使用する場合は、続行する前に、PC またはサーバ上に DNS サーバをインストールし、アクティブにしてください。

手順

Cisco Unity Express リリース 1.1.1 へのソフトウェア アップグレードでは、以下の 3 種類のソフトウェア ロード作業が必要になります。

- 新しいブート ローダのロード
- 適切な新しいライセンスのロード
- Cisco Unity Express ソフトウェアのロード

準備

次のステップを実行します。

1. [Cisco.com](#) から、Cisco Unity Express リリース 1.1.1 ソフトウェアと適切なライセンスをダウンロードします。注：Cisco CallManagerとCallManager Expressには異なるライセンスが必要です。Cisco Unity Express 1.1.1 ソフトウェアをダウンロードするには、『[Cisco Unity Express - ネットワーク モジュール](#)』（登録ユーザ専用）を参照してください。
2. cue-installer.1.1.1 インストール ファイルを TFTP サーバに配置します。
3. FTP サーバに、次のファイルを配置します。cue-boot loader.1.0.17.pkgcue-vm.1.1.1.pkgcue-vm.1.1.1.pt1cue-vm.1.1.1.manifestcue-vm-YY-ZZZ.pkg注：変数YYはボイスメールユーザの数を表し、ZZZはCisco CallManagerまたはCallManager Expressを表しま

- す。
4. TFTP サーバと FTP サーバが最新の状態で実行されていることを確認します。PC の場合、PC 上で TFTP および FTP プログラムがアクティブになっていることを確認します。
 5. Cisco IOS® ソフトウェアを使用して、Cisco Unity Express Network Module (NM) 向けに **service-module service-engine <slot/0> session** コマンドを発行します。
 6. `se-x-x-x-x Cisco Unity Express NM reload` コマンドを発行します。注：最後まで、各ステップでモジュールをリロードする必要はありません。
 7. 「Please enter '***' to change boot configuration *** と入力します。これにより、NM はブート ロード モードになります。
 8. `ServicesEngine boot loader> config` と入力します。
 9. これらのさまざまなプロンプトで、次の情報を入力します。NM IP アドレスサブネット マスク TFTP サーバ アドレスゲートウェイ ルータのアドレスイーサネット インターフェイスは internal です。デフォルトのヘルパー イメージの場合は `cue-installer.x.x.x` を入力し、ここで x は最新のリリース番号を表します。デフォルトのブート用に `disk` を入力します。
IP Address [192.168.2.3] >
Subnet mask [255.255.255.0] >
TFTP server [192.168.1.2] >
Gateway [192.168.2.2] >
Default Helper-file [**cue-installer.1.1.1**] >
Ethernet interface [internal] >
Default Boot [**disk**] >
 10. システムがフラッシュに情報を書き込み、`ServicesEngine boot loader> boot helper` と入力します。NM が、TFTP サーバからヘルパー イメージを起動します。

新しいブート ロードのロード

次のステップを実行します。

注：Cisco Unity Express リリース 1.1.1 では、リリース 1.0.2 とは異なるブート ロードが使用されています。

注：システムは、ユーザが y を押した場合にのみリロードします。基本的に、その間のリロードなしで、3 つの異なるロードのすべて (ソフトウェア、ライセンスおよびブート ロード) を介して入手できます。

1. `ServicesEngine installer#> so i p u ftp://<ftp_ip_addr>/cue-boot loader.1.0.17.pkg` に入ります。ここで、`<ftp_ip_addr>` はラップトップやサーバなどの FTP サーバの IP アドレスを反映します。
2. primary に「p」を、「Which boot loader would you like to update primary or secondary (p,s) [p]?」ウィンドウでは他のプロンプトを使用します。
3. システムの起動時に、「Please enter '***' to change boot configuration ブート ロード モードに入るために、*** を入力します。注：ウィンドウの上部に「ServiceEngine boot loader Version」と表示 1.0.17 NM
4. `ServicesEngine boot loader> help` と入力して、新しいブート ロードの機能を表示します。
5. `ping <ftp_ip_addr>` コマンドを発行します。ここで、`<ftp_ip_addr>` は、FTP サーバの IP アドレスです。システムは、そのアドレスに ping を送信する必要があります。これは、新しい ping の機能と、それが FTP サーバに到達可能であることを明示します。

Cisco Unity Express ライセンスのロード

次のステップを実行します。

1. `ServicesEngine boot loader> TFTP boot helper` と入力します。注：Cisco Unity Expressリリース1.1.1には、Cisco CallManagerとCallManager Expressに対する個別のライセンスがあります。希望するライセンスを選択します。
2. `ServicesEngineinstaller#>`プロンプトで、`so i p u ftp:// <ftp_ip_addr>/cue-vm-YY-ZZZ.pkg` と入力します。ここで<ftp_ip_addr>はFTPサーバのIPアドレスを表します。YYは音声ユーザを表CiscoをですCallManagerまたはCallManager Express。
3. すべてのプロンプトが表示されたら、`y` を入力します。システムは、Cisco Unity Express イメージをロードする必要があります。

新しい Cisco Unity Express ソフトウェアのロード

次のステップを実行します。

1. `ServicesEngine boot loader> boot helper` と入力して、TFTP サーバからヘルパー イメージを起動します。
2. `ServicesEngineinstaller#>` `so i p u ftp://<ftp_ip_addr>cue-vm.1.1.1.pkg` コマンドを入力します。ここで、<ftp_ip_addr> は FTP サーバの IP アドレスを反映します。
3. すべてのプロンプトが表示されたら、`y` を入力します。いくつかの表現方法で表示されますが、システムを実行し Cisco Unity Express イメージをロードしてみましょう。注：システムは、ユーザがyを押した場合にのみリロードします。基本的に、その間のリロードなしで、3つの異なるロードのすべて（ソフトウェア、ライセンスおよびブートローダ）を介して入手できます。

CLI の設定

次のステップを実行します。

1. システムが実行され、すべてのプロンプトが表示されたら、`y` と入力します。
2. システムで、セットアップに際していくつかの質問が表示されます。「Would you like to use DNS for CUE (y,n)?n」を入力します。DNS サーバアドレスは後から入力できます。
3. 次の行が表示されたら、**Enter** キーを押します。
Enter IP Address of the Primary NTP Server
(IP address, or enter for x.x.x.x)
4. 残りの質問は、地域、国、およびタイムゾーンの設定を行うためのものです。それに応じて情報を入力します。NM は、起動シーケンスを続行します。waiting xx... xx は起動完了までに要する秒数を表します。NM では、通常、起動完了するまでに 130 ~ 160 秒かかります。Advanced Integration Module (AIM) の場合は、通常、起動完了するまでに最大で 500 秒ほどかかります。
5. `se-a-b-c-d Cisco Unity Express CLI a-b-c-d` は、NM の IP アドレスとなります。
6. Cisco Unity Express プロンプトで、`show software version` コマンドを発行して、適切なソフトウェアがインストールされていることを確認します。これは、`show software version` コマンドの出力例です。

```
se-10-10-9-221>show software versions
```

```
Installed Packages:
```

```
- Core 1.1.1
```

- Auto Attendant 1.1.1
- Voice Mail 1.1.1
- Boot Loader 1.0.17

Installed Languages:

- US English 1.1.1

7. 適切なライセンスがインストールされていることを確認するには、**show software license コマンドを発行します。注：Cisco CallManagerとCallManager Expressのライセンスは異なります。**

次に Cisco CallManager ライセンスの例を示します。

```
se-10-10-9-221> show software licenses
```

Core:

- application mode: CCM
- total usable system ports: 8

Voicemail/Auto Attendant:

- max system mailbox capacity time: 6000
- max general delivery mailboxes: 15
- max personal mailboxes: 50

Languages:

- max installed languages: unlimited
- max enabled languages: 1

次に Cisco CallManager Express ライセンスの例を示します。

```
se-10-10-9-123>show software licenses
```

Core:

- application mode: CCME
- total usable system ports: 8

Voicemail/Auto Attendant:

- max system mailbox capacity time: 6000
- max general delivery mailboxes: 15
- max personal mailboxes: 50

Languages:

- max installed languages: 1
- max enabled languages: 1

初期設定例

これは、Cisco Unity Express ソフトウェア リリースをリリース 1.0.2 から リリース 1.1.1 にアップグレードするための設定例です。

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Welcome to Cisco Systems Service Engine

IMPORTANT:: post installation configuration tool.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: This is a one time process which will guide

IMPORTANT:: you through initial setup of your Service Engine.

IMPORTANT:: Once run, this process will have configured

IMPORTANT:: the system for your location.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you do not wish to continue, the system will be halted

IMPORTANT:: so it can be safely removed from the router.

IMPORTANT::

Do you wish to start configuration now (y,n)? **y**

Are you sure (y,n)? **y**

A valid configuration has been found in flash.

Would you like to use it and bypass configuration? (y,n) **n**

Erasing old configuration...done.

IMPORTANT:: DNS Configuration:

IMPORTANT::

IMPORTANT:: This allows the entry of hostnames, for example foo.cisco.com, instead
IMPORTANT:: of IP addresses like 1.100.10.205 for servers used by CUE. In order
IMPORTANT:: to configure DNS you must know the IP address of at least one of your
IMPORTANT:: DNS Servers.

Would you like to use DNS for CUE (y,n)?**n**

WARNING: If DNS is not used CUE will require the use

WARNING: IP addresses.

Are you sure (y,n)? **y**

Enter IP Address of the Primary NTP Server

(IP address, or enter for 1.3.231.12):

Enter IP Address of the Secondary NTP Server

(IP address, or enter to bypass):

Please identify a location so that time zone rules can be set correctly.

Please select a continent or ocean.

- | | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 1) Africa | 4) Arctic Ocean | 7) Australia | 10) Pacific Ocean |
| 2) Americas | 5) Asia | 8) Europe | |
| 3) Antarctica | 6) Atlantic Ocean | 9) Indian Ocean | |

#? **2**

Please select a country.

- | | | |
|----------------------|-------------------|--------------------------|
| 1) Anguilla | 18) Ecuador | 35) Paraguay |
| 2) Antigua & Barbuda | 19) El Salvador | 36) Peru |
| 3) Argentina | 20) French Guiana | 37) Puerto Rico |
| 4) Aruba | 21) Greenland | 38) St Kitts & Nevis |
| 5) Bahamas | 22) Grenada | 39) St Lucia |
| 6) Barbados | 23) Guadeloupe | 40) St Pierre & Miquelon |
| 7) Belize | 24) Guatemala | 41) St Vincent |
| 8) Bolivia | 25) Guyana | 42) Suriname |
| 9) Brazil | 26) Haiti | 43) Trinidad & Tobago |
| 10) Canada | 27) Honduras | 44) Turks & Caicos Is |

- | | | |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 11) Cayman Islands | 28) Jamaica | 45) United States |
| 12) Chile | 29) Martinique | 46) Uruguay |
| 13) Colombia | 30) Mexico | 47) Venezuela |
| 14) Costa Rica | 31) Montserrat | 48) Virgin Islands (UK) |
| 15) Cuba | 32) Netherlands Antilles | 49) Virgin Islands (US) |
| 16) Dominica | 33) Nicaragua | |
| 17) Dominican Republic | 34) Panama | |

#? **45**

Please select one of the following time zone regions.

- 1) Eastern Time
- 2) Eastern Time - Michigan - most locations
- 3) Eastern Time - Kentucky - Louisville area
- 4) Eastern Time - Kentucky - Wayne County
- 5) Eastern Standard Time - Indiana - most locations
- 6) Eastern Standard Time - Indiana - Crawford County
- 7) Eastern Standard Time - Indiana - Starke County
- 8) Eastern Standard Time - Indiana - Switzerland County
- 9) Central Time
- 10) Central Time - Michigan - Wisconsin border
- 11) Central Time - North Dakota - Oliver County
- 12) Mountain Time
- 13) Mountain Time - south Idaho & east Oregon
- 14) Mountain Time - Navajo
- 15) Mountain Standard Time - Arizona
- 16) Pacific Time
- 17) Alaska Time
- 18) Alaska Time - Alaska panhandle
- 19) Alaska Time - Alaska panhandle neck
- 20) Alaska Time - west Alaska
- 21) Aleutian Islands
- 22) Hawaii

#? **161**

The following information has been given:

United States

Pacific Time

Therefore TZ='America/Los_Angeles' will be used.

Local time is now: Thu Nov 6 03:43:07 PST 2003.

Universal Time is now: Thu Nov 6 11:43:07 UTC 2003.

Is the above information OK?

1) Yes

2) No

#?

Changing owners and file permissions.

Change owners and permissions complete.

INIT: Switching to run level: 4

INIT: Sending processes the TERM signal

STARTED: cli_server.sh

STARTED: ntp_startup.sh

STARTED: LDAP_startup.sh

STARTED: superthread_startup.sh

STARTED: SQL_startup.sh

STARTED: HTTP_startup.sh

STARTED: \${ROOT}/usr/wfavvid/run

waiting 174 ...

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Administrator Account Creation

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Create an administrator account. With this account,

IMPORTANT:: you can log in to the Cisco Unity Express GUI and

IMPORTANT:: run the initialization wizard.

IMPORTANT::

Enter administrator user ID:

(user ID): **admin**

Enter password for admin:

(password):

Confirm password for admin by reentering it:

(password):

se-10-10-21-2>

Cisco Unity Express リリース 2.3.x へのソフトウェア アップグレードの準備

次のステップを実行します。

1. Cisco.com から、Cisco Unity Express リリース 2.3.x ソフトウェアと適切なライセンスをダウンロードします。注：Cisco CallManagerとCallManager Expressには異なるライセンスが必要です。Cisco Unity Express 2.3.x ソフトウェアをダウンロードするには、『[Cisco Unity Express - ネットワーク モジュール](#)』（登録ユーザ専用）を参照してください。
2. cue-installer.2.3.x インストール ファイルを TFTP サーバに配置します。
3. FTP サーバに、次のファイルを配置します。cue-installer.2.3.x.cue-vm-installer.2.3.x.ptr1cue-vm.2.3.x.pkgcue-vm-full.2.3.x.ptr1cue-vm-lang-pack.2.3.x.pkgcue-vm-en_US-lang-pack.2.3.x.ptr1CUEEditor2.3.1.exe
4. TFTP サーバと FTP サーバが最新の状態で実行されていることを確認します。PC の場合、PC 上で TFTP および FTP プログラムがアクティブになっていることを確認します。
5. Cisco IOS® ソフトウェアを使用して、Cisco Unity Express Network Module (NM) 向けに **service-module service-engine <slot/0> session** コマンドを発行します。
6. se-x-x-x-x Cisco Unity Express NM **reload** コマンドを発行します。注：最後まで、各ステップでモジュールをリロードする必要はありません。
7. 「Please enter '***' to change boot configuration***」と入力します。これにより、NM はブート ロード モードになります。
8. ServicesEngine boot loader> **config** と入力します。
9. 表示されるさまざまなプロンプトで、次の情報を入力します。NM IP アドレスサブネットマスクTFTP サーバ アドレスゲートウェイ ルータのアドレスイーサネット インターフェイスは internal です。デフォルトのヘルパー イメージの場合は **cue-installer.x.x.x** を入力し、ここで x は最新のリリース番号を表します。デフォルトのブート用に **disk** を入力します。

```
IP Address [192.168.2.3] >
Subnet mask [255.255.255.0] >
TFTP server [192.168.1.2] >
Gateway [192.168.2.2] >
Default Helper-file [cue-installer.2.3.1] >
Ethernet interface [internal] >
Default Boot [disk] >
```
10. システムがフラッシュに情報を書き込み、ServicesEngine boot loader> **boot helper** と入力します。NM が、TFTP サーバからヘルパー イメージを起動します。

新しい Cisco Unity Express ソフトウェアのロード

次のステップを実行します。

1. インストールメニューから最初のオプション、[Install software] を選択します。

```
Welcome to Cisco Systems Service Engine Helper Software
Please select from the following
1      Install software
2      Reload module
3      Disk cleanup
(Type '?' at any time for help)
Choice: 1
```

2. パッケージ名、FTP サーバのアドレス、ユーザ名、パスワードを入力します。

```
Package name: cue-vm.2.3.1.pkg
Server url: ftp://192.168.2.2
Username: admin
Password:*****
Validating package signature ... done
Downloading cue-vm-lang-pack.2.3.1.pkg
Bytes downloaded : 387252
type: application
WARNING:: Software installation will clear disk contents
Continue [n]? y
```

3. 言語選択メニューから言語のバージョンを選択します。

Language Selection Menu:

#	Selected	SKU	Language Name
1		PTB	CUE Voicemail Brazilian Portuguese (2.3.0)
2		ENG	CUE Voicemail British English (2.3.0)
3		DAN	CUE Voicemail Danish (2.3.0)
4		FRA	CUE Voicemail European French (2.3.0)
5		ESP	CUE Voicemail European Spanish (2.3.0)
6		DEU	CUE Voicemail German (2.3.0)
7		ITA	CUE Voicemail Italian (2.3.0)
8		ESO	CUE Voicemail Latin American Spanish (2.3.0)
9		ENU	CUE Voicemail US English (2.3.0)

Available commands are:

```
# - enter the number for the language to select one
r # - remove the language for given #
i # - more information about the language for given #
x - Done with language selection
```

>9

4. 言語選択メニューで、選択した項目に「*」が表示されます。メニューを使用して、言語に関する情報を追加、削除、または取得します。終了したら x を入力します。

Language Selection Menu:

#	Selected	SKU	Language Name
1		PTB	CUE Voicemail Brazilian Portuguese (2.3.0)
2		ENG	CUE Voicemail British English (2.3.0)
3		DAN	CUE Voicemail Danish (2.3.0)
4		FRA	CUE Voicemail European French (2.3.0)
5		ESP	CUE Voicemail European Spanish (2.3.0)
6		DEU	CUE Voicemail German (2.3.0)
7		ITA	CUE Voicemail Italian (2.3.0)
8		ESO	CUE Voicemail Latin American Spanish (2.3.0)
9	*	ENU	CUE Voicemail US English (2.3.0)

Available commands are:

```
# - enter the number for the language to select one
r # - remove the language for given #
i # - more information about the language for given #
x - Done with language selection
```

>*
>

システムによって、ソフトウェアのインストールが行われます。インストールの完了後、システムがリロードします。

5. y を入力して、初期設定を開始します。

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Welcome to Cisco Systems Service Engine

IMPORTANT:: post installation configuration tool.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: This is a one time process which will guide

IMPORTANT:: you through initial setup of your Service Engine.

IMPORTANT:: Once run, this process will have configured

IMPORTANT:: the system for your location.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you do not wish to continue, the system will be halted

IMPORTANT:: so it can be safely removed from the router.

IMPORTANT::

Do you wish to start configuration now (y,n)? y

6. 応答として y または n を入力します。出力を参照して、必要な設定を確認してください。

IMPORTANT::

IMPORTANT:: A Cisco Unity Express configuration has been found in flash.

IMPORTANT:: You can choose to restore this configuration into the

IMPORTANT:: current image.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: A stored configuration contains some of the data from a

IMPORTANT:: previous installation, but not as much as a backup. For

IMPORTANT:: example: voice messages, user passwords, user PINs, and

IMPORTANT:: auto attendant scripts are included in a backup, but are

IMPORTANT:: not saved with the configuration.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you are recovering from a disaster and do not have a

IMPORTANT:: backup, you can restore the saved configuration.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you are going to restore a backup from a previous

IMPORTANT:: installation, you should not restore the saved configuration.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you choose not to restore the saved configuration, it

IMPORTANT:: will be erased from flash.

IMPORTANT::

Would you like to restore the saved configuration? (y,n)

7. Cisco Unity Express 管理者 ID を入力します。これは、Cisco Unity Express GUI にログインするためのユーザ名です。

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Administrator Account Creation

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Create an administrator account. With this account,

IMPORTANT:: you can log in to the Cisco Unity Express GUI and

IMPORTANT:: run the initialization wizard.

IMPORTANT::

Enter administrator user ID:

(user ID): Admin

Enter password for admin:

(password): *****

Confirm password for admin by reentering it:

(password): *****

se-x-x-x-x>

[関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco Unity Express 2.3 インストールおよびアップグレードガイド](#)
- [Cisco Unity のインストールとアップグレードに関するガイド](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)